

学校教育振興会について どのように承知しているか

町長 学校教育振興会の持つ役割は
大きく評価している

内田精彦 議員



答 各学校の教育振興会について、町内には小学校7地区、中学校2地区の教育振興会があります。会の目的は幼稚園、小学校、中学校における教育活動を援助するとともに、地元も利用する施設、設備などの充実を図り、地

問 横田小学校、中学校の教育振興会の決算書を見ますと、小学校では41万円の支出の内、健全育成費に162万8千円、これは大会の派遣費、ユニアーモム代です。これは約72%、また環境整備費が41万4千円でこれは、校

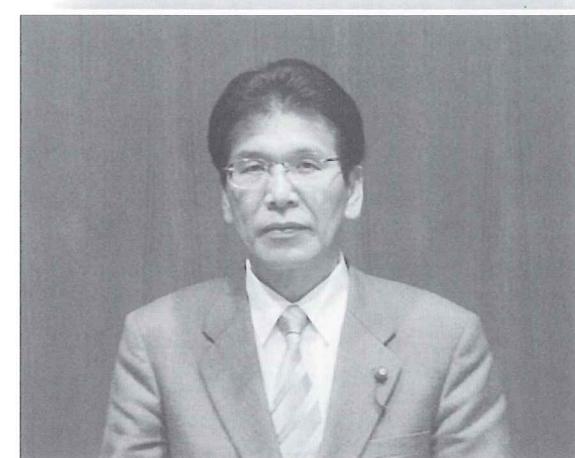
問 奥出雲町街路灯整備事業について、平成21年度事業において三成地区街路灯整備工事が現在工事中である。これは以前からの施設が古くなり今回全面的に取り替える工事で、亜鉛メキシ樹脂塗装のポールの上部にLED照明また足元照明もあり、電気料は以前より40%削減の省エネ商品で、これを奥出雲町が設置、維持管理とし、電気料は地元負担となつ

答 地域振興課長 横田市街地、大市にも同じよつた街路灯があります。これは共同組合で運営されています。平成3年に設置された街路灯は162基組合員128人で会費と助成金が一体となつた取組み方を推進して頂きたい。

小学校再編に向けての条件整備 (町道高尾線道路改良)について

町長 今後、優先順位を見極め整備路線として取り組む

村尾明利 議員



問 昨年の1月、学校再編基本計画検討委員会の答申がなされ、検討事項の中に極小規模の小学校の方向性について述べられている。学校規模によって複式学級のある小学校を「小規模校」、全校児童数が15名以下の小学校を「極小規模校」と位置づけ、「もろもろの状況等を踏まえ学校再編整備をすること」と答申が出ている。ここに述べられている極小規模にいち早く達するのは、現在、16名の児童生徒が通う高尾小学校で、新年度には全校生徒14名が見込まれ、平

問 街道高尾線は、今後、優先順位を見極めながら整備路線として取り組みについての所見を伺う。

答 町道高尾線は、今後、優先順位を見極めながら整備路線として取り組みについての所見を伺う。

答 街道高尾線沿いにあり、通学や給食車両の順路でありながら道路は、狭い箇所が多く車両の交差を困難にしており、公共交通路線にもなっていない。学校再編を見越した条件整備についての所見を伺う。

答 農業振興施策は、多岐にわたり、課題も山積していることから、迅速、適切な判断を下すために協議、検討を要す機会が多く、仁多庁舎配置にメリットがあると考えています。

答 農業振興施策は、多岐にわたり、課題も山積していることから、迅速、適切な判断を下すために協議、検討を要す機会が多く、仁多庁舎配置にメリットがあると考えています。

答 農業振興施策は、多岐にわたり、課題も山積していることから、迅速、適切な判断を下すために協議、検討を要す機会が多く、仁多庁舎配置にメリットがあると考えています。

答 開発農地の生産振興に欠かせない営農指導体制の継続的な強化策について伺う。

答 現在、県から農業改良普及員三木企画幹の奥出雲町駐在を得て、開発畠での営農指導は飛躍的に

答 地域振興課長 三成地区街路灯整備工事は平成15年に町が整備しましたもので老朽化により更新している。奥出雲町街路灯整備全体計画は策定していない。

答 奥出雲町産のモチ米価格の引き上げに伴う、生産者と加工施設が一体となつた取組み方を推進して頂きたい。

答 奥出雲町は、モチ米生産の拡大と農家所得の向上に資するよう、生産者と加工施設が一体となつた取組み方を推進して頂きたい。